

議第 1 号

小諸都市計画道路の変更について

平成 24 年 9 月 5 日提出
長野県都市計画審議会長

24 都第 203 号
平成 24 年 8 月 22 日

長野県都市計画審議会長 様

長 野 県 知 事

小諸都市計画道路の変更について

このことについて、都市計画法第 21 条第 2 項の規定において準用する同法第 18 条第 1 項の規定により、次のように審議会に付議します。

小諸都市計画道路の変更（長野県決定）

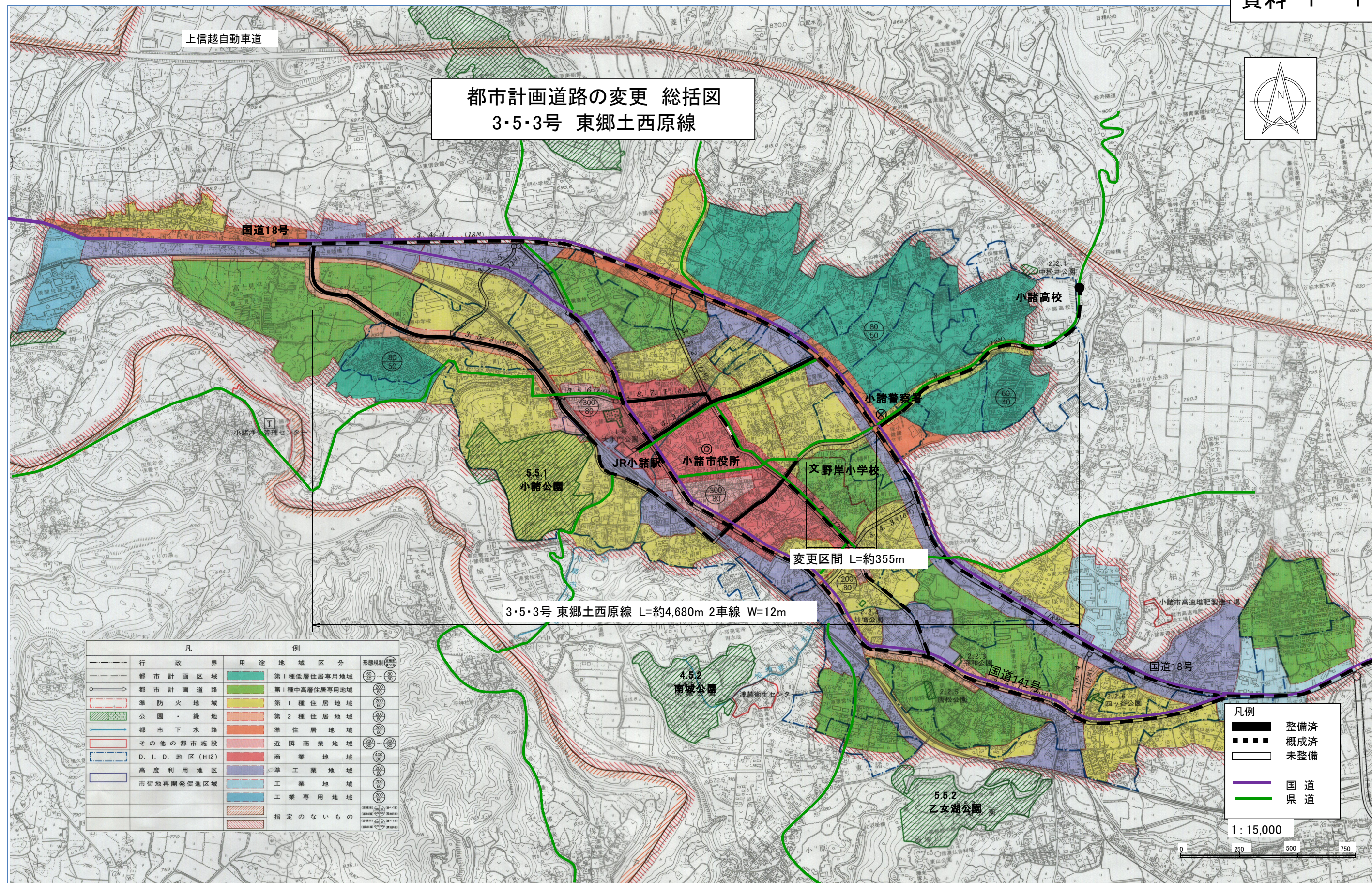
都市計画道路 3・5・3号東郷土西原線を次のように変更する。

種別	名 称		位 置			区域	構 造				備 考
	番 号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
幹線街路	3・5・3	東郷土西原線	小諸市甲字東郷土地内	小諸市丙字青木地内	赤坂二丁目地内	約4,680m	地表式	2車線	12m	しなの鉄道と立体交差2ヶ所 幹線街路と平面交差6ヶ所	

「区域および構造は計画図表示のとおり」

理 由

安全で円滑な自動車走行の確保を図るため、一部区間の区域を変更する。



変 更 理 由 書

小諸都市計画道路 3・5・3号東郷土西原線は、県道峰の茶屋小諸線（県立小諸高校周辺）を起点に小諸市西部の国道 18号を終点とし、小諸市の東西交通と南北交通を担い、上信越自動車道小諸インターから市街地へのアクセス道路としての機能をもつ都市の骨格を形成する重要な幹線街路です。

昭和 44年 5月に都市計画決定され、その後 4回の都市計画変更を経て、現在延長約 4,680m、幅員 12mの 2車線道路で、現在までの整備延長は約 2,775mで、整備率は約 59%となっています。

今回変更する区間は、小諸市内の国道 18号警察署前交差点から野岸小学校付近で、幅員が狭く、道路の線形が湾曲し縦断勾配が急で、狭隘な片側歩道となっております。

この区間は、昭和 44年の当初都市計画決定区域の区間で未整備区間となっておりますが、今回整備するにあたり、決定時から約 40年経過しているため、詳細な測量調査などを行い、住宅の立地状況や交通状況を勘案し、地元住民や関係機関との調整を図りながら道路計画の再検討を行った結果、約 170mの区間について、平面線形を変更することにより、視距確保がより改善されること、国道 18号警察署前交差点付近では右折車線が無いため、交通渋滞が発生していることから、右折車線を設置することにより交差点部の円滑な交通が確保されることにより、走行性の向上と安全性の向上が図られることから、線形などについて都市計画変更を行います。

都市計画の策定の経緯の概要

小諸都市計画道路の変更（長野県決定）（3・5・3号 東郷土西原線）		
事 項	時 期	備 考
地元説明会等	平成 24年 4月 25日（水）	八幡町地区関係地権者
変更案の協力依頼	平成 24年 5月 17日（木）	
公聴会開催公告	平成 24年 5月 28日（月）	
素案の閲覧	平成 24年 5月 31日（木）から 平成 24年 6月 14日（木）まで	小諸市報、HPへも掲載
公聴会 （都市計画法第 16条第 1項）	平成 24年 6月 24日（日）	公述の申出がなかったため中止
市町村への意見聴取 （都市計画法第 18条第 1項）	平成 24年 7月 30日（月）	
計画案の公告	平成 24年 7月 5日（木）	
計画案の縦覧 （都市計画法第 17条第 1項）	平成 24年 7月 6日（金）から 平成 24年 7月 19日（木）まで	意見の提出なし
長野県都市計画審議会 （都市計画法第 18条第 1項）	平成 24年 9月 5日（水）	
都市計画決定告示 （都市計画法第 20条第 1項）	平成 24年 9月中旬（予定）	

都市計画道路の変更(参考図) 3・5・3号 東郷土西原線

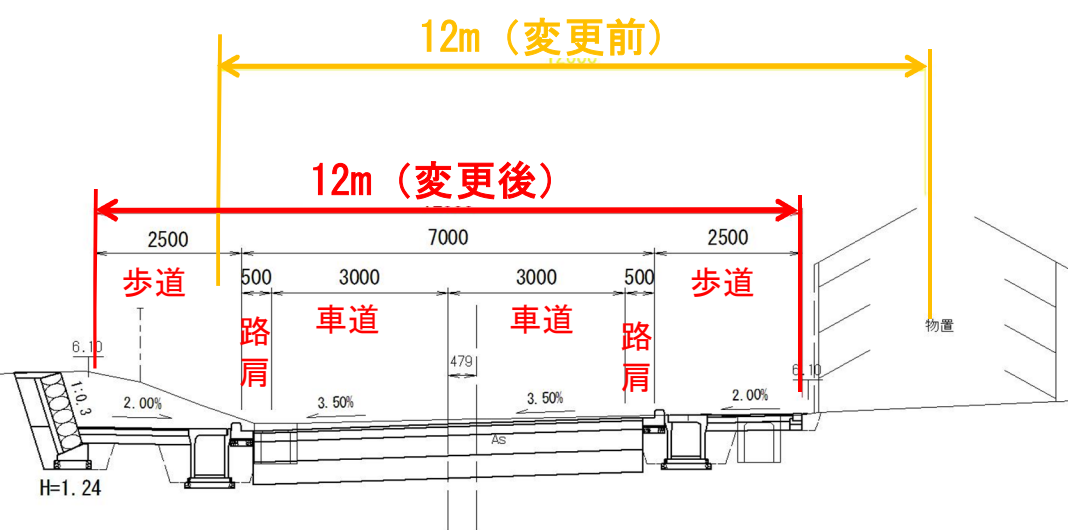
- 【凡例】
- 道路
 - 歩道
 - 変更後
 - 削除



交通安全協会
小幡警察署



幅員の変更(シフト)



幅員の変更(拡幅)

